## 千代田区建築物環境計画書制度 環境評価書(住宅)

□ 協議完了時

□ 変更時

■ 工事完了時

#### (仮称)千代田区神田神保町一丁目24計画 建築物の名称

賃貸集合住宅 460.82 m<sup>2</sup> 建物用涂 敷地面積 建築物の所在地 東京都千代田区神田神保町一丁目24-1、2、6、7、 建築面積 289.75 m<sup>2</sup> 延床面積 3,140.51 m : 計算対象 297.16 m<sup>2</sup> 8,9 神保町地域 階数 地域 地上 12 階 地下 0 階 2023年1月15日 構造、総戸数 竣工日 S造 12 戸

#### 省CO2効果 省エネルギー基準 基準一次エネルギー消費量 削減率 328.0 [GJ/年] 設計一次エネルギー消費量 286.2 [GJ/年] BEI(設計值/基準值) 12.7 % 0.87 共用部の計算 対象外 CO2排出量 基準値 16 [t-CO2·年] 設計値 14 [t-CO2·年] 削減量 2 [t-CO2·年] 削減率 12.7 % 20 省CO2対策の概要 12.7%削減 Low-E複層ガラス、外壁高断熱化等で熱負荷を低減 し、高効率エアコン、LED照明等の導入により省CO2 15 2 CO2排出量[t-CO2·年] 化を図った。 10 14 5 0 基準値 設計値 省CO2設備手法 省CO2建築手法 ■ Low-E複層ガラス ■ 高効率エアコン □ 高効率給湯機 □ 駐車場換気量制御 ■ 手元止水 ■ 複層ガラス □ 機械室換気量制御 ■ 水優先吐水 □ 二重サッシ □ 全熱交換器 ■ 庇・ルーバー・バルコニー ■ 小流量シャワー □ 自然換気(自動制御) ☐ HEMS ■ 外壁高断熱化 □ 高効率電動機 □ その他 面的エネルギー活用 ■ LED照明 □ エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入 (範囲:住戸全館) □ 人感センサ □ 明るさセンサ □ スケジュール制御 □ 初期照度補正 非常時の対応 創エネ手法 □ コージェネ □ 非常用発電機(法令規制以外) □ 太陽光発電 □ その他 □ その他

### 未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- □ 河川水熱 □ 地下鉄排熱
- □ 地中熱
- バイオマス □ 太陽熱利用
- □ その他

### 環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- □ 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮

地中熱

## 千代田区建築物環境計画書制度 環境評価書(非住宅)

□ 協議完了時

□ 変更時

■ 工事完了時

# 建築物の名称 (仮称)千代田区神田神保町一丁目24計画

460.82 m<sup>2</sup> 事務所, その他(自動車車庫) 敷地面積 建物用途 建築物の所在地 東京都千代田区神田神保町一丁目24-1、2、6、7、 建築面積 289.75 m<sup>2</sup> 3,140.51 ㎡: 計算対象 2,669.99 ㎡ 延床面積 神保町地域 地域 階数 地上 12 階 地下 0 階 竣工日 2023年1月15日 構造 S造

#### 省CO2効果 省エネルギー基準 削減率 基準一次エネルギー消費量 3,624.6 [GJ/年] 設計一次エネルギー消費量 3,080.8 [GJ/年] 15.0 % BEI(設計值/基準值) 0.85 CO2排出量 基準値 178 [t-CO2·年] 設計値 151 [t-CO2·年] 27 [t-CO2·年] 削減量 削減率 15.0 % 200 15.0%削減 省CO2対策の概要 Low-E複層ガラス、外壁高断熱化で熱負荷を低減 27 し、高効率分散熱源、全熱交換器、LED照明の導入 150 202排出量[t-C02·年] により省CO2化を図った。 100 178 151 50 0 設計値 基準値 省CO2設備手法 省CO2建築手法 ■ LED照明 ■ Low-E複層ガラス ■ 高効率分散熱源 ■ 複層ガラス □ 高効率中央熱源 (範囲:事務所全館) □ 庇・ルーバー・バルコニー □ 高効率空調機(中央熱源) ■ 人感センサ 外壁高断熱化 □ 変流量制御(中央熱源) (範囲:トイレ) 面的エネルギー活用 □ 大温度差送水(中央熱源) □ 明るさセンサ □ 変風量制御(中央熱源) □ 地域冷暖房を導入 □ 外気導入量制御 □ スケジュール制御 □ 地域冷暖房を将来導入 □ 外気冷房 □ 既存地域冷暖房から受入 □ 自然換気(自動制御) □ 初期照度補正 □ サブプラントを設置 ■ 全熱交換器 □ 高効率給湯機 □ 特定電気事業者等を導入 □ 高効率電動機 □ 自動給湯栓 □ 特定電気事業者等を将来導入 □ 変風量制御 □ 小流量シャワー □ 特定電気事業者等を受入 □ 送風量制御 ☐ BEMS □ 熱融诵 □ その他 □ 電力融通 □ 面的対策その他 □ エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入 創エネ手法 非常時の対応 ロ コージェネ □ 非常用発電機(消防設備用以外) □ 太陽光発電 □ その他 □ その他 未利用・再生可能エネルギー活用 環境負荷低減の取り組み ■ 敷地と建物の被覆対策 □ 下水熱 □ バイオマス □ 河川水熱 □ 太陽熱利用 ■ 水循環 □ 地下鉄排熱 □ その他 □ 緑の量・質の確保、生態系への配慮